

徳島県の地震

平成31(2019)年3月

目次

◎徳島県の地震活動

| | | |
|-----------------------|---|-----|
| 震央分布図・断面図 | … | 1 |
| 概況 | … | 1 |
| 徳島県で震度1以上の揺れを観測した地震の表 | … | 2 |
| 震度分布図 | … | 2～3 |

◎地震メモ

| | | |
|-----------------------|---|---|
| 南海トラフ地震に関連する情報の名称について | … | 4 |
|-----------------------|---|---|

*「徳島県の地震」は月1回発行し、徳島県及びその周辺の地震活動状況をお知らせするとともに、適宜、社会的に関心の高い地震について解説を行っています。また、「地震メモ」で地震防災等の知識普及に努め、皆様のお役に立てることを目的としています。

*本資料の震源要素及び震度データは、再調査されたあと修正されることがあります。

*本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

*この資料に掲載した地図は、国土地理院の数値地図25000（行政界・海岸線）を使用しています。

*全国の地震火山活動概況、震源要素、震度データは気象庁ホームページに掲載しています。
<http://www.jma.go.jp/jma/menu/bunyaecq.html>

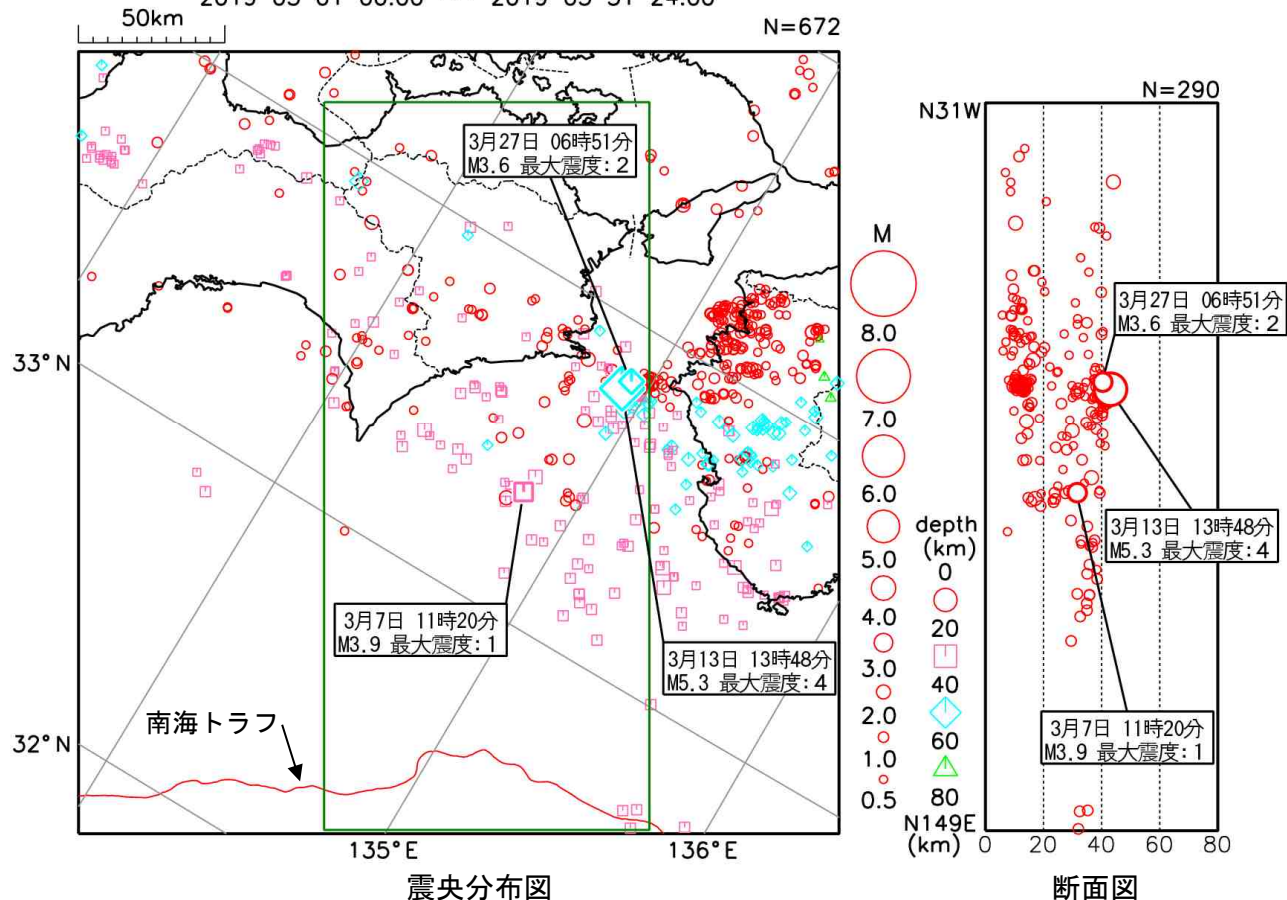
*大阪管区気象台管内（近畿、中国、四国地方）の地震活動は、大阪管区気象台ホームページに掲載の「管内地震活動図」、「週間地震概況」をご覧ください。
<http://www.jma-net.go.jp/osaka/jishinkazan/kanindex.html>

徳島地方気象台

(<http://www.jma-net.go.jp/tokushima/>)

徳島県の地震活動

震央分布図・断面図 2019年3月1日～2019年3月31日
2019 03 01 00:00 -- 2019 03 31 24:00



- ・ M0.5以上の地震を表示。
- ・ 震央分布図中の緑色の長方形内の地震を北東側から見た断面図を右に表示。
- ・ 図に表示する震源は、凡例のとおりシンボルの大きさと色でマグニチュード (M) の大きさを、シンボルの形状と色で震源の深さ (震央分布図のみ) を区分。
- ・ 図中のコメントは、徳島県で震度1以上を観測した地震の発生日時・マグニチュード (M)、最大震度 (徳島県内の最大震度とは限りません)。

概況

2019年3月に徳島県で震度1以上を観測した地震は4回でした (前月は3回)。震央分布図の範囲内でM2.0以上の地震は34回 (前月は20回)、断面図の範囲内でM2.0以上の地震は20回 (前月は10回) でした。

7日11時20分 四国沖の地震 (M3.9、深さ32km) により、美波町で震度1を観測しました。また、和歌山県で震度1を観測しました。この地震は、フィリピン海プレート内部で発生しました。

11日15時37分 愛媛県南予の地震 (震度分布図範囲外: M4.6、深さ38km) により、三好市で震度1を観測しました。また、愛媛県、高知県、山口県で震度3を観測したほか、中国、四国、九州地方で震度2~1を観測しました。この地震は、フィリピン海プレート内部で発生しました。

13日13時48分 紀伊水道の地震 (M5.3、深さ43km) により、徳島市、小松島市、阿南市で震度4を観測しました。また、和歌山県で震度4を観測したほか、中部地方から中国・四国地方にかけて震度3~1を観測しました。この地震は、フィリピン海プレート内部で発生しました。

27日06時51分 紀伊水道の地震 (M3.6、深さ40km) により、徳島市、鳴門市、小松島市、阿南市、那賀町で震度1を観測しました。また、和歌山県で震度2~1を観測しました。この地震は、フィリピン海プレート内部で発生しました。

徳島県で震度1以上の揺れを観測した地震の表

2019年3月1日～2019年3月31日

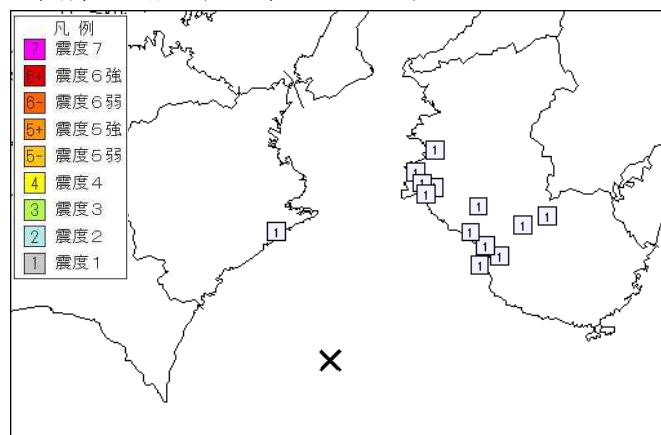
| 発震日（年月日時分） 各地の震度（徳島県内のみ掲載） | 震央地名 | 緯度 | 経度 | 深さ | マグニチュード |
|--|-------|-------------|--------------|------|---------|
| 2019年03月07日11時20分 震度 1：美波町西の地* | 四国沖 | 33° 22.2' N | 134° 47.9' E | 32km | M3.9 |
| 2019年03月11日15時37分 震度 1：徳島三好市池田総合体育館 | 愛媛県南予 | 33° 11.4' N | 132° 42.7' E | 38km | M4.6 |
| 2019年03月13日13時48分 震度 4：徳島市津田町*、小松島市横須町*、阿南市那賀川町* 震度 3：徳島市新蔵町*、鳴門市撫養町、鳴門市鳴門町*、石井町高川原*、松茂町広島*、北島町中村*、藍住町奥野*、吉野川市鴨島町、吉野川市川島町*、吉野川市山川町*、美馬市木屋平*、阿波市市場町*、阿波市吉野町*、徳島三好市池田総合体育館、阿南市富岡町、阿南市山口町*、阿南市羽ノ浦町*、勝浦町久国*、牟岐町中村*、那賀町和食*、那賀町延野*、美波町西の地*、美波町奥河内*、海陽町大里*、海陽町奥浦* 震度 2：佐那河内村下*、神山町神領*、板野町大寺*、上板町七條*、吉野川市美郷*、美馬市穴吹ふれスポ公園、美馬市脇町、美馬市美馬町*、美馬市穴吹町*、つるぎ町貞光*、つるぎ町半田*、徳島三好市三野町*、徳島三好市西祖谷山村*、上勝町旭*、那賀町横石、那賀町木頭和無田*、那賀町木沢*、海陽町穴喰浦* 震度 1：つるぎ町一字*、徳島三好市池田中学校*、徳島三好市東祖谷*、徳島三好市井川町*、東みよし町昼間*、東みよし町加茂* | 紀伊水道 | 33° 48.0' N | 134° 54.8' E | 43km | M5.3 |
| 2019年03月27日06時51分 震度 1：徳島市大和町、鳴門市撫養町、鳴門市鳴門町*、小松島市横須町*、阿南市山口町*、那賀町和食*、那賀町延野* | 紀伊水道 | 33° 50.0' N | 134° 55.7' E | 40km | M3.6 |

- ・ 震源要素（緯度・経度・深さ・マグニチュード）は暫定値。
- ・ 地点名の後に*がついている地点は、気象庁以外の観測点。

震度分布図（×印は震央）

3月7日11時20分

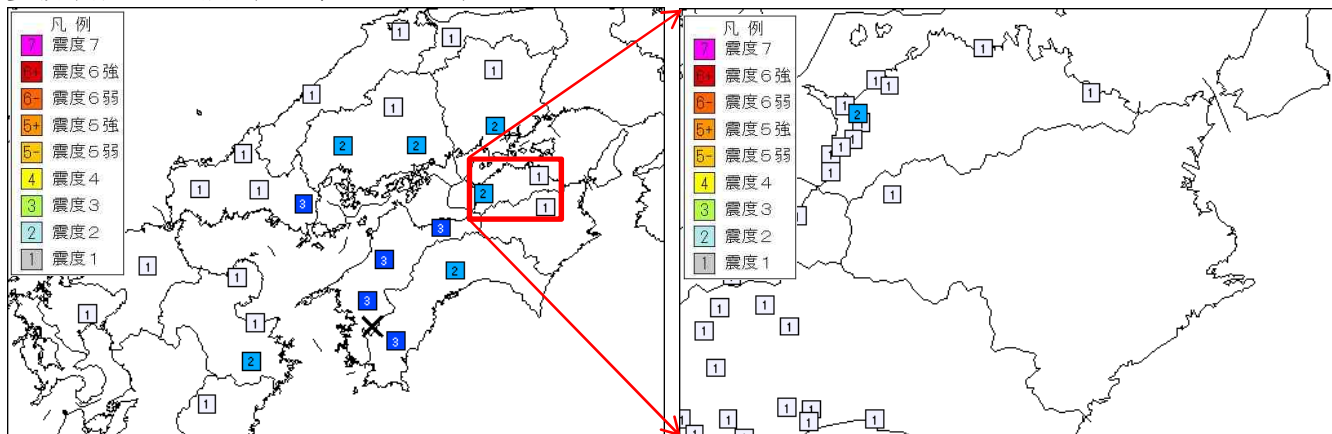
四国沖の地震（M3.9、深さ32km）



観測点別震度分布図

3月11日 15時37分

愛媛県南予の地震 (M4.6、深さ38km)

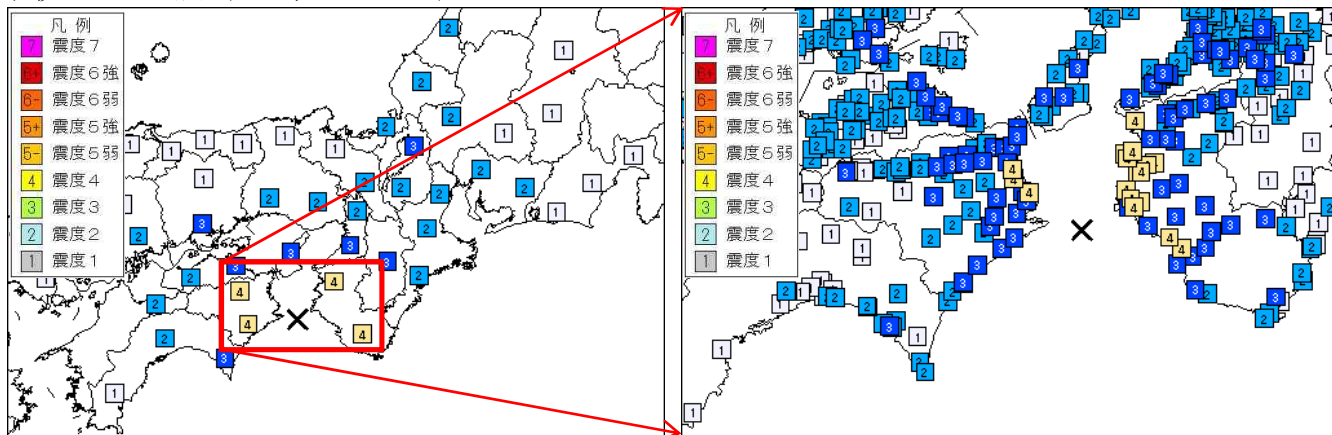


地域別震度分布図

観測点別震度分布図

3月13日 13時48分

紀伊水道の地震 (M5.3、深さ43km)

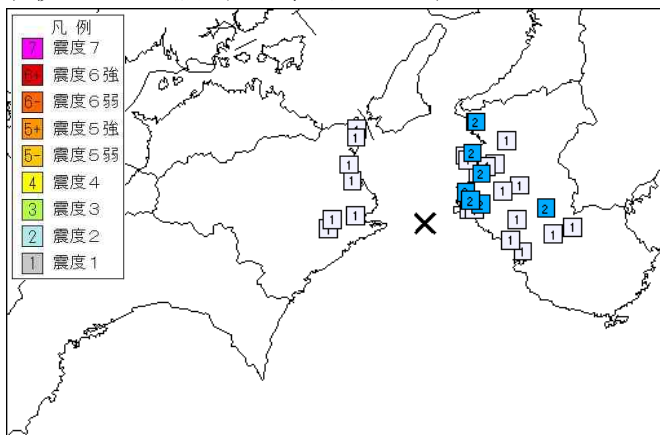


地域別震度分布図

観測点別震度分布図

3月27日 06時51分

紀伊水道の地震 (M3.6、深さ40km)



観測点別震度分布図

【地震メモ】南海トラフ地震に関連する情報の名称について

気象庁では、南海トラフ沿いで発生した異常な現象の観測結果や分析結果について、平成 29 年 11 月から当面の間、「南海トラフ地震に関連する情報（臨時）」及び「南海トラフ地震に関連する情報（定例）」により発表することとしています。

今般、中央防災会議防災対策実行会議「南海トラフ沿いの異常な現象への防災対応検討ワーキンググループ」の報告書^{※1}（平成 30 年 12 月、以下「WG 報告書」という）を踏まえ、南海トラフ沿いで発生した異常な現象の観測結果や分析結果について発表する情報の名称を以下の通り決定しました。

また、この情報名称については、WG 報告書の「大規模地震発生の可能性が相対的に高まったと評価された場合、該当するケースや警戒のレベルに応じた防災対応がとれるよう、情報の内容等について名称や位置づけを検討することが必要」との指摘を踏まえたものです。

南海トラフ地震に関連する情報の名称及び発表条件

| 情報名 | 情報発表条件 |
|---------------|---|
| 南海トラフ地震臨時情報 | 南海トラフ沿いで異常な現象が観測され、その現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合 観測された異常な現象の調査結果を発表する場合 |
| 南海トラフ地震関連解説情報 | 観測された異常な現象の調査結果を発表した後の状況等を発表する場合 「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」の定例会合における調査結果を発表する場合（ただし、臨時情報を発表する場合を除く） |

「南海トラフ地震臨時情報」に付記するキーワード

「南海トラフ地震の多様な発生形態に備えた防災対応検討ガイドライン^{※2}」に示された防災対応等にあたるキーワードを情報名に付記することを基本とします。

| | |
|-------------------------|--|
| 南海トラフ地震臨時情報 （調査中） | 観測された異常な現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合 |
| 南海トラフ地震臨時情報 （巨大地震警戒） | 「南海トラフ沿いの異常な現象への防災対応検討ワーキンググループ」において示された「半割れケース」に相当する現象と評価した場合 |
| 南海トラフ地震臨時情報 （巨大地震注意） | 「南海トラフ沿いの異常な現象への防災対応検討ワーキンググループ」において示された「一部割れケース」／「ゆっくりすべりケース」に相当する現象と評価した場合 |
| 南海トラフ地震臨時情報 （調査終了） | （巨大地震警戒）、（巨大地震注意）のいずれにも当てはまらない現象と評価した場合 |

本情報の具体的な運用開始時期や発表方法については、決まり次第お知らせします。

なお、南海トラフ地震に関連する情報の名称の詳細は、気象庁ホームページをご覧ください。
URLは、以下のとおりです。

http://www.jma.go.jp/jma/press/1903/29a/20190329_nankai_joho_name.html

【参考】（内閣府ホームページ）

※1 南海トラフ沿いの異常な現象への防災対応検討ワーキンググループの報告書

http://www.bousai.go.jp/jishin/nankai/taio_wg/pdf/h301225honbun.pdf

※2 南海トラフ地震の多様な発生形態に備えた防災対応検討ガイドライン（第1版）

http://www.bousai.go.jp/jishin/nankai/pdf/honbun_guideline.pdf